

日本学術会議 化学委員会 物理化学・生物物理化学分科会（第 24 期 第 2 回）議事録

日時 平成 30 年 5 月 29 日（火）17 : 30 ~ 18 : 45

会場 分子科学研究所（明大寺キャンパス） 研究棟 1 階 113 号室

出席者（8 名）

相田 美砂子，阿波賀 邦夫，安藤 香織，岡本 裕巳，川合 眞紀，黒田 玲子，
村越 敬，山本 達之

欠席者（9 名）

岩澤 康裕，栗原 和枝，寺嶋正秀，所 裕子，中嶋 敦，西川 恵子， 福村裕史，
三澤 弘明，山内 薫

本分科会委員 17 名の内 1 名は外国出張中であるため，定足数は 8 であるので会議は成立した。

【議事・協議事項】

1. 前回議事録の確認

承認された。

2. 物理化学分野における情報科学の有益な活用の可能性について

同日の分子研研究会「化学と情報科学との融合による新化学創成」の内容を踏まえて，情報科学が物理化学分野に果たす役割について意見交換を行った。その結果，まだ内容やアプローチに未定義な部分があるものの，教育・研究の場に取り入れる必然性や必要性があり，今後の発展が期待されるのではないかという意見が多かった。活用の可能性はあると考えられ，引き続き検討することとなった。

3. 地方にある大学における教育研究環境の現状把握と問題提起について

現状についての報告と意見交換を行い，具体的にどのような提案とするか意見交換を行った。その結果，運営交付金の減少だけではなく，大学や研究所予算全体を俯瞰して対策を提言すべきではないかとの意見に集約された。原案にある対策を基調に，それぞれの項目に加筆，訂正を行い，報告ではなく提言として提出することとした。各委員が加筆訂正し，8 月中を目安に文書を完成する。

4. その他

特になし。

以上